

# 2021年始動 関西の優良企業トップに聞く

第3種郵便物認可

日刊工業新聞

[広告特集]

2021年(令和3年)1月29日・金曜日

日休刊)

昭和15年8月17日第3種郵便物認可

# 日刊工業新聞

THE NIKKAN  
KOGYO SHIMBUN

1月29日 金曜日

2021年(令和3年)

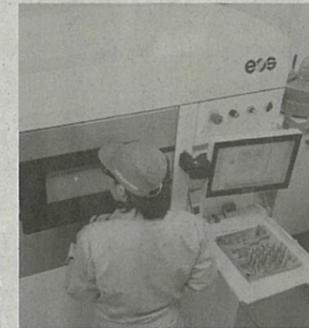
TODAY

38 深層断面



—2021年の展望は。これまで参画してきた国家プロジェクトが2件、国際プロジェクトが1件ある。いずれも当社の事業継続を通じて蓄積した技術が評価され、大手重工メーカーや大学、研究機関などと連携して取り組んできた。それらが実を結びつつあり、商品化段階に入るものもある。祖業である金属熱処理加工業に、金属射出成形(MIM)による製造業、3D積層造

形による医療機器の商品化と三つのステージが揃い、今年は業容が拡大する年になる。—参画プロジェクトの内容は。一つはAMED(日本医療機器開発機構)の支援を受けている医療関連の3D積層造形プロジェクト。チタン合金を材料とする3D技術はほかに手にかけているところがなかった。当社の白羽の矢が立った。いよいよ実証を終え、実装段階に入る。また2018年から参画している内閣府主導の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)2期による



ドイツEOS社の金属積層造形装置で、カスタムメイドインプラントを製造する。

## 金属熱加工・射出成形、積層造形でモノづくりの進化に貢献



大阪冶金興業 寺内 俊太郎社長

革新的構造材料開発も研究のピークを迎える。さらに各国が共同で取り組む国際熱核融合実験炉(ITER)計画にも部品供給で参画している。—参画する意義は。世の中で必要とされるものに対し、我々の立場で対応できるものには貢献していきたい。我々は金属熱加工、MIM、積層造形などの技術を蓄積してきた。世界に3台しかないような高性能設備も導入しており、モノづくりの進化に貢献できる要素は多い。強みが評価され、大プロジェクトに参画することで信用が増し、開発技術を世に出す力にもな

い。新型コロナ禍は悪いことばかりではなく、人材を採用しやすくなるという効果があった。新型コロナ禍以前は採用したくても難しい時期が続いていたが、今は三木工場(兵庫県三木市)周辺の人による応募が急増した。需要はこれまでに納入した発電機ガスタービンのメンテナンスなどが安定している。さらに新規事業を積み上げるためにも、優秀な人材の確保に努める。

エネルギー問題の解決を目指す 国際プロジェクトに 熱処理で貢献

熱核融合実験設備の主要部品の真空熱処理加工を担当しています。

国家プロジェクトで唯一無二の カスタマイズ合金粉末を製造

戦略的イノベーション創造プログラム SIP 第2期に参画しています。

大阪冶金興業の モノづくりは遂に、体内へ

金属製体内埋込型医療デバイスを開発し、製造販売を開始しました。

真空熱処理 表面改質熱処理 金属粉末射出成形 金属粉末積層造形  
おかげさまで令和3年、創業80周年を迎えます。

創業100周年を目指し金属熱処理加工の未来へ挑戦を続けます。

金属を科学する。  
**大阪冶金興業株式会社**  
Osaka Yakin Kogyo Co., Ltd.

本社/〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光4丁目4番28号  
TEL: 06-6328-1345 FAX: 06-6328-1380  
三木工場/〒673-0043 兵庫県三木市別所町巴25番地  
TEL: 0794-86-1345 FAX: 0794-83-4831



www.osakayakin.co.jp